

MARU GAME TOWN（マルゲームタウン）

香川県丸亀市の商店街や通りに見立てた盤上をすごろくの要領で周回しながら、店を開いてコインを稼いだり、家やマンションを建てたりしてにぎわいをつくっていく「街づくり体験ゲーム」です。地域を開発して、街の象徴となるランドマークの建設を目指します。

ゲームの内容物

<ゲームボード> 4枚

<お店カード> 68枚

<ランドマークカード> 12枚

<ラッキーイベントカード> 28枚

<アンラッキーイベントカード> 20枚

<ランドマークトークン> 6個

<プレイヤートークン> 4個

<エリアトークン> 人 20個(4種×5) / 家 20個(4種×5) / マンション 12個(4種×3)

<お店トークン 4種×12> 48個

<公園トークン> 8個

<コイントークン> 1→100枚/5→58枚/→10→52枚/50→20枚

ゲームの準備

- 卓上に盤面を設置する。
- 各プレイヤーに駒1個と所持金10コイン、店舗トークン、エリアトークンを配る。
- プレイヤーは四隅のマスから1箇所をスタート地点に選ぶ。他のプレイヤーと同じ場所を選べない。
- イベントカードと店舗カードをそれぞれ束にし、シャッフルして裏向きに盤の中央に置く。
- お店カードの山から4枚表にして並べる。
- 盤上にランドマークカードを置く。

初心者用配置：対角線上にコスト50、コスト70同士をそれぞれ配置。その他は60

中級～上級者：ランダムに置く。

勝利条件

最も早くランドマークを同一エリア内に2つ、もしくは任意のエリアに3つ建設したプレイヤーの勝利。

遊び方の手順

1. スタートプレイヤーを決め、時計回りの順番でプレイする。
2. プレイヤーは手番の最初にサイコロを振る。最大2個まで振ることができる。
(ア) 2個振る場合：ゾロ目なら出目の合計分のコイン得る。
1と6が出たら16コイン得る。
(イ) 1個振る場合：無条件に2コイン得る。

3. 出目の数だけコマを進める。

(ア) 空き地マスに止まった場合

店舗カードを置くか、イベントカードを引くか選べる。イベントカードを引いたら、書かれた内容に従う。

【お店カードの置き方】

盤の中央に表向きに並べられた4枚のお店カードから1枚選び、カードに記された建築コスト分のコインを支払ってマスに置く（表向きのお店カードは常に4枚になるように山札から補充する）。その後、人トークンを1つ、任意のエリアに置く。同一エリア内の人トークンが2個になれば家トークン1個に、家トークンが2個になればマンショントークン1個に置き換えられる。

(イ) 止まったマスに他プレイヤーのお店カードが置かれていた場合

その店舗を所有するプレイヤーに、カードに記された数字分のコインを支払う。当該エリアにその店舗を所有するプレイヤーのエリアトークン（人・家・マンション）や公園トークンがあれば支払いに加算する。

【加算するコインの枚数】

「人」「公園」：1コイン
「家」：2コイン
「マンション」：4コイン

(ウ) 「マルタス」マスの場合

イベントカードを引き、その内容に従う。止まった「マルタス」マスのあるエリアに人トークンを1つ配置する。

(エ) 「取引所」マスの場合

取引所があるストリートの好きな場所に店舗カードを設置できる。設置しない場合はイベントカードを引く。

(オ) 四隅のマスに止まった場合

全プレイヤーがそれぞれのマスの効果に従う。

【飯野山】

・このマスに駒がある間、全プレイヤーの店舗が休業となり、収入を得ることができない。

【JR 丸亀駅】

・自分が置いた人トークンの数×5 コインの収入を得る

【丸亀城】

・サイコロを2つ振り、出た目×2の収入を得る。

【まるがめボート】

・10 コインを支払いボートレースができる。
・サイコロを1個振り、出目に応じた収入を得る。

1	→	50 コイン
2・3	→	30 コイン
4・5・6	→	0 コイン

(カ) 他のプレイヤーと同じマスに止まった場合

そのマスの効果が無効になり、当該エリアに公園トークンを置く。

(キ) 盤上を周回してスタート地点を通過した場合

20 コインを得る。

4. 手番の最後にエリアトークンを移動させたり、ランドマークを建てたりすることができる。

(ア) エリアトークンの移動

・コインを支払うことで、エリアトークンを移動できる。
・移動コスト：マンション→20・家→10・人→5

(イ) ランドマークの建設条件

マンションを任意のエリアに建てた上で、自分のエリアトークンが最も多いエリアにランドマークを建設できる。

5. 所持コインがマイナスになった場合

(ア) 自分の店舗を競売にかけ、人トークンを1つ失う。家やマンションしかない場合はダウングレードする。

【競売の仕方】

- ・所持コインがマイナスになったプレイヤーは任意の店舗を競売に掛ける。
- ・他のプレイヤーは時計回りに金額を提示。
- ・最高落札者が決まるまで、入札を繰り返す。
- ・競り落としたプレイヤーは店舗に自分の店舗トークンを置き、当該エリアに人トークンを置く。

(イ) 競売に掛ける店舗がない場合、スタート地点に戻り 15 コインを得る。

用語説明

エリア：

盤面は通町商店街、富屋町商店街、浜町商店街、京極通りの4つのエリアで構成される。各エリアにエリアトークンを置くことで、トークンの数に応じて収入が増える。

エリアトークン：

人・家・マンション・公園の4種類。

トークンの種類によって収入に加算される額が異なる。

「人」「公園」：1つにつき+1 コイン

「家」：1つにつき+2 コイン

「マンション」：1つにつき+4 コイン

破産：

他のプレイヤーの店舗へ支払いやイベントカードの効果でコインがマイナスになった場合を指す。破産した場合、自分の店舗を競売に掛ける。

競売：

破産したプレイヤーの店舗を、最も多額のコインを提示した他のプレイヤーが購入する。

エリアトークンの上限

各プレイヤー：

人トークン×5 / 家トークン×5 / マンショントークン×3 まで

公園トークン×8(全プレイヤー)：オールマイティのエリアトークン